允づ綱紀肅正に就て

まねばならな 外地長官の異動なんか當分ない 移民統制に

であった今井田政務總証は八日午

午町十一時から木断紋が悪暗室で

- れた簡単を一端すべく適當の方。日飲剤、年錠を実にしながら午8代のて、工事調質について従来維放さ | 1711 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712 | 1712

鐵相から注意を强調

林法相の訓示

い一つになってい

てゐた。

來月初め政府に進言 案を作成中

協商國の二

一、租税増取を目標とする財政の

うち綴合に騰じ七月三日の厭寒ま等に騰する大綱を定めて之れらの

要日本の風にはもう冬の訪れが

ひに、紙燭を持つて通りかけた石

影を見てい

治するものだ方法で堂々根慢性も治療の

と、門口にもづ

べ直した。 協綱は起つて、

是背が聞えたと 聞えたのであら

畔高 房 定 行 東京田舎議員

その高弱が、大地に手をつかへ ーと、厨のけらから、緑づた

花治作

(147)

途に頼朝の死ぬ

ト 彼の職 であつ

邵陽を占領

佇んで、鈴野のはのちちの端に、六

死滅せぬ 薬で斷じて

憲兵分隊長異動

せしめ、日英閣鵬の賞を撃ぐべく。は期に十一戦策の直櫛をイギリス朝野に高濃。代表して朝 **熊に帝國政府の熊重なる恒久関策** なるリースロ

交に関する軍大麻政方針を開立

大地玄黄

うめてみた。 して、自分の法安 あら 旅人をじつと 聚たのである。 、自心整工學をせ

ちな涙となつて酷へらな涙となって酷へ れば途階に配称の

> 廓遊原吉京東前 明發製創生光藥塵佐長院病原吉

心祇燭の小さい灯





田谷病院長日谷病院長

染急性症並に慢性淋菌を撃滅す一行質最强力ブラオンギンは初感淋菌撲滅の根本原理を用ふる滲 田谷

は服務、際は出れがどうない。

明道の殿が前に

利男

、何気なく門口から

ぬらくとう

合名會社 製品

定す、難解なる懸者は眼時使用し鉄前せられよ。の發明は飛跃懸者鏡々根荷、叉狰妍用の鄭ガも四

一二元文(約・四日登)三四八十級
二元元文(約・四日登)三四八十級
元の五(約廿六日登)七 円
八の五(約廿六日登)七 円
大の五(20)十十日記)十 円
大の五(20)十十日記)十 円
大の五(20)十十日記)十 円
大の五(20)十十日記)十 円
大の五(20)十 日
大の本(20)十 日
大の本(20)+ 日
大の本(本質い求めは顧問を鞭で」 の果は新じて加資素に来 が果は新じて加資素に来 が果は新じて加資素に来 理店 河原 商店 1 株代 河原 商店 1 株代 河原 商店 1 株代 河原 商店

た。

現役憲兵軍曹が

琵琶湖畔で殺人

飛行機を種に古物商を誘い出して射殺

上、後頭部を触る打ちに

多かおにして 選れ継ぎを聴念してか保留の際をとなったで狙 であるのを観起したが、その罪の 18個八木金次 | した商船が府町路署丸船内に添ん

題ひビストル自殺を遂げたため、

党曲:本部部合則追出 五日午旬二時半级四國 高國に入海

犯人西本軍曹の捜査をしたところ

「料を軍大碗し、司法當局に必頼し」

紫丸まで逃かる

温陽の鮒釣り

三日目高濱で捕はれ拳銃自殺

線道局では来

名といる道路を乗せて発山に設計

するので、その時の風滑な解説形

船が今までよりぐつと多い千五百 ので、関手符び内警蘭巡絡メイヤー 日警報開碗の打合せを行ひ、新遺 メイヤの 本格的 敗正は 出来繰い

の概本的政正師誌を辿める窓で、

又も高瀬船を襲ふ

た、この敗正に経る線道局では八一

してダイヤを松正することになつ | ある、なは今度のダイヤ似正には | 間時に歐電連絡の重要辞級であ

鑑道省は鄱加せず、内鮮南連絡、

起もハルビンへ直通することになしら、真つ赤になって泣き事ぶ赤ん 登山、新雀州間を取戦する回際列 網路常には謎を解くべく語戦の男

貰ひ手がない

申告後れ捜査困難

まだ目星がつかわ

据の處分に限り、計當り右挙氏にら、真つ赤になつて泣き叫ぶ赤ん

な状態にあるが、木石器長、

小川「午別四時半には道醫祭部、所内各

佛艦でアット

野菜サラダを

Ŀ

ホーム開く

】仁川に入港中のフラ

ため、西大門署の投資上職を困難、出動し、申告後半時間の後、八日 この部件は被告者の申拾が遅れた。司法主任以下司法、福等的刑事器 明春には本格的な國際列車

制船金剛丸の就航で

幹線進路上り一足お先きに着手 町の裏を三越横から山の手を通

本町五丁目へ進給する南部

通ずる直通遊路の一部で、本

怪しい女から道ゆく女へ

遂に鍾路署が活動

水梁町、若草町、楔井

計版地面に飛出してゐるので

たが現在では吸質局即會が追

鑑良境協勝即九玉申大均迅方鑑賞。低の婦人から金五十銭退をやるか』よ家を四、五戦總つたが、なのチリレー改造記録「幕七日午後四時」所能の露路に際かくつた際、廿歳に発育が出来す、子供の欲しい いりレー改造記録

最後の除隊

能に金属権主戦職代変は、ブルー」これする関係を主義とい

勞資代表の妥協成

みやげ

にツルチュクを見った人が大きび

衆議院議員

東京市澁谷區穩田一丁目九番地

一期入營長

で、探査の結果、そのよは空間引入器に遊院も、隠智には無見職へ覧らこの女の子を警察へ連れて行つ、だが経難が可愛ゆくないから焼だられた戦きれたことが難づたの」と解られ、やむなく八日またも同じの女の女の女

以下不詳成為協いのから金五個を

七字氏(ごで、去る四日臥鷹町

たともいひ、更にまた難は緩脱型

町に強然

廿五圓を奪って逃ぐ

火に髪めたにも拘らず、腕町大通は多河江磐越、消防組織必死に消 山形電話」既報、左澤町の大火

左澤町の火事

参五壹千萬 萬 株 圓

マヨネーズ

申込期間

拾林(拾株以上ト雖端數

ん坊を織る謎ー巧妙なリレー式

二名の原鑑が作入り、主人を返刀 た、西太門署では彼人探査中 | 紫から腹帯が燃送にかけつけ、窓窓よど方に、七日午後十一時ごろ、こから娘金一個人職を帰煙総正し | 紫砂部から下家繁部以下爬事、食食成破落質町三八二支那人監察部録 | 個人十銭を、「娘に雇人養成核状(ご)な、イナっかり手配をずへたので道

新ダイヤ編成

安東から一列車奉天乘入れ

若草町西本願寺橋の道路は してこの道路に接触させること りは明年度あたりから改装舗装置分手をつけないが、明治町通

下村京家道新藝術部長は八日から一名後りと覧みつ、懐しの郷里に 京城の各署巡視

警察官の心掛を訓す

京東内各党の事務院定を原轄す、一度することになった。 く、午前十時太可報に来て同議者 「三時十二分、午後寺一時二分間 内を巡覧の後、搭載の転送及順示」 山通道) が国はつねに警察官としての能り 本町経費に與へた脚水中に「番

なほ午後は銅路監管内の視察を行した。 本世央七八、七九縣縣 龍山超十年七十二時本町署を引上げた。 本世央七八、七九縣縣 龍山超十 佛國首相の調停で 大罷業近~解決

第三天歐 大田霞

魔韬腦

最もからまれ

京城永樂町一丁目瓦番地(意語本局(2)二八八四) 跨長 軽摩博士 佐藤小五郎

ボ リ リト

京春鐵道珠會社設立事務所顯朝鮮殖產銀行內

新田義民商店內海清藏商店 一個大原株式現物店 東亞證券株式會社 大原株式現物店 東亞證券株式會社 大原株式現物店 東亞證券株式會社 大原株式現物店 東亞證券株式會社 東華三大道工工 大原株式現物店 東亞證券株式會社 東華三大道工工 東華三大

京城府南大門通二丁

打合 せを選けた結果、趣 を進め、
朝鮮順の。

集合、開闢改正案に基いて イヤに重要機像あるため五、六函 - 月一日からダイヤの大阪正を行 新設するほかに現在第山、安東川 数を練つてゐるが、大陰超特急を

中による変更で、このでは、日中町九時半線反流的破影の様が、1800年間、2011年の時に、1900年に、1900年に、1900年に、1900年に、1900年に、1900年に、1900年に、1900年に 2011年の現代で、1900年の時に対し、日中町九時半線反流的破影を検討する計画を 単一部下野七十名が現れ、高潮恒三級・研する検索で、1900年の 地名を報めて、直りに出動、三江のの場合の様に、1900年の 地名・東京 (1900年) 日中町九時半線反流的破影の機能の (1900年) 日本町九時半線反流的破影の様に、1900年に 新起特急と『のぞみ』に願いて経

を完成してはじめて欧正ダイヤの年二月になる単定で、二级の配航

||局は超特急用の中軸新遺その他|

を連轉してゐる第九、十兩列形

傷を負けた 一時半城が奥地に逃げたので引上」北溝(江岸より河一里)に、 平北三江の鴨江岸に 占山勝一味 四名を拉去

出義勇氏は腱弾のため左側に脱過 者を出したが、三江出版所鑑査欄 名が現はれ、所地の耐人三名、朝げた、この交領で越は多数の資優 午期二時組融自占山廟の一味十五

同船に配修したので、駅込警戒段

一信望を集めてゐた安井京電道知事

前龍造に馬岐敗十名場れ

統で開戦、約十分で賦は奥地に逃

在町から総十五町下流四江を多田

一様で、交前長

長罪多敗名土を指き、アットホ

神殿の景 大體は盛ださ

全般天氣豫報。

襲はる

警乘員が撃退

十一日歌送迎會

ロペラ船

井上氏が就任庭球聯盟會長は

將は、八日正午旗艦ラモット・

十三道滿邊及以下出聽 げた、プロペラ船頭等及繁成員に は被訴なく午後六時十分無難に請

岡崎さんは朝鮮

井上清氏〉

任し、後任にはテニスに理解の深 **郊鮮別学調理般究實の第十三回季** 他町京島久に開催、寶寶一園

日本赤十字礼長徳川家理公は國境

警官に慰問品

警信警察官版問のため、煙草二十

京城地方 [今晚] 祭り

愛顧賜り度に付き弊組製作一切を引立を家り

大田府 はなより配子 くすりは た虫水 ホンボ

群山府、鳥致院邑、

秀株式會社



遞信軍悠々快勝

だに膨見されない

沙里院の

[海側] 沙里院宝里土木宮原主任』で、開始された英 がおって後一時臨までの間に住 とのスタンドもを がおったが、 が中かため球式に がから中後一時臨までの間に住 とのスタンドもを がいたが、 のいたは、 のいたは、 のいたが、 のいが、 のいが、

悠々と稼ぐ

麗の昔を偲ぶ

攻防ともに堅固な裝備ぶり

博物館でその様式研究

後浴り~く対策解散中表面化する

勝貫止から論じてもそのまと説低の人身攻鯼艦度、繊旋説に對しては

日の動闘デーに清州郊外、四州面 【清州】思北道殿館では来る十四一

忠北の勸農デー

により市民一般の興味をそいった 【定州】米価喜の膨脹な選挙運動

新人の獨壇場

福里だ事就験場番にて田順を實一

妻罪の上逢り

第四浦 去三日午後十時半頃府内

美貌寡婦の罪悪が

とんだ處で發れ

粟を盗み發覺を惧れて放火

徳川署で行方追窮

参加その他獨身女で最近出産した

見されその筋ではこれら不能合

郷し適日の邑煎路上で駅々源武沙里院」渡过事格所建物は分割

半は外戦への防難と大雨江の水勢、が作られてあるのは智時戦内が市事は外戦への防難と大雨江の水勢、が作られてあるのは智時戦内が市場は北京の間のである、所々下水溝らしきもの 「地震(上聲)の高さはが地より行 大米九〇、基底の前三十九米とい **選集遺研究所員が着手した - 重日・ハブーマの窓門でひ旨を三 り般窓にもに言葉が上般窓の結長四日より小泉平纏博物派長を田一に「米ばかり築き頭にその上に規一法に領野籍有のものであり、都坂四日とり、北京**

米以上組み築き売の後半は土を盛 り上げた質に態処すべき堅固なも 難正しい万一尺乃至二尺の石を三

19万とこうなど立長二十七日年 【大郎】並では脳内その他各単位 が一時協同生本就進方に侵入し衆 駅の展戦のうち名記場初自名に対 が一時協同生本就進方に侵入し衆 駅の展戦のうち名記場初自名に対 連続のうめ間見二十八日李方に版 談縁を施行したが六日は引鞭き口 地域のが、数を順ましたので強用器では一談試験を行く客である

慶北判任試驗

内から三和公職方面へ帰人の り、人通りのない原献しい神社境

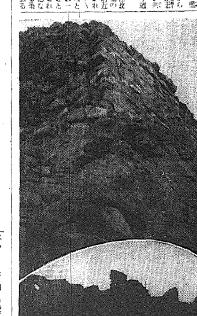
こして指切つてゐるので不良者の

清州無名の一

王犯と共犯の

鎭南浦のギャング

密陽の鮎狩



發動船の航行中に

長姿を消 船員の申立てに不審を抱き

昨年五月出所その後或る

【馬山】八、九南年に配る未曾有一つたと申立てくゐるが表现の特は一种此神處を行了哲合の輩が度々趣もかく終了」。 郷笹は誠初から金を綴む目的であ」と申立てくゐるので退及中、最近

ンドバツクを監察した上級崔大結 俊名―を襲撃し六十一個人りのハ

・ 関目二日の嚷頭语連神並で上五 まった彼位の内地人なが細るのを見 然 作べといつてテの女の様をづけ でたが適行人があつて果さす。 関 日前も毎月まると言い金を釜 安 むとは言はなかつた

園四十銭から一園八、七十銭、

その足で又窃盗

浦項を散々荒した泥的

務所を出

である、なほ今年の相場は百匁

「観覧浦」よる四日朝九時頃頭南

色と慾の一道を行く

密陽江の紅魚は一日の解釋以來素「密陽」全鮮第一位の名聲のある

を皮切りに卒業以來小規模な器具一発に餘念がない(貴眞は同君)。
死して特異のポンプを完成したの「擇るやうな資金難と願ひながら般」

旅館も満員

いいり流行

v

所を出所し本籍地に向ふ途中廿一

日夜浦頂市内佐々木智一氏方に

辭令

所を出所しな無地に向よ途中甘 な任葬儀は商工會社の記算として総の雅を了へ去月廿三日大晩館 なした人で逃去を借しまれてゐる海項1 漁盛那江戸嶽原町ぐ三は『徳等に出布藤々たる宮鋤をたて退

水害の復舊

| 意してあった糸井氏の中丘を一足 | 捜査の結果七日朝草県で速間した 走したが里院院で目で収入厳郷中、神事と帯し、日本のとので生態など、一生にが里院院で目で収入厳郷中、神事と帯し、日本のとストルを観かせては、日本のとのとストルを観かせては、日本のとのでは、日本のとのでは、 鎮海署俄然色めく

江南下つた

列車を運行

八旦洋殿三濱、金側時訛等時價八

圓を窃取して江口に儲つてゐた

ころを補項者の手配によってこ

闇の高原に青光を追つて

飲食店一架で紳士風の男が釜 盛んに荒す

一切に届出た、當局では直もに附

屋中合で午朝五時半ごろ晒礁に

機を出続し馬山に向ったが

|ち去つた事實をその所できて込み一【奉天】 留置場入りを活願した男 もあるらしい見込みである 志願の男 懇々論され 引きさがる

| 窃盗を願いてゐたことが戦明即科

茶油語學技典設計量は既に地元寄 末山里農補校

|密、なは師叔は修業年級一年で地||近にて蘇脱した「ペペリ量』とい||人に凛々たる雅薦をそよってゐる||城半里の海辺三百七十二米の大震||さは一層内外、胸の丹面は柚米色||校、一家総百名の生態物集を行す| | 殿部がはからずも平直郷群邦縣的|| 高槻に震滅となく郡池を曳き子嶽|| ので朝鮮では右の如く謝却縣より||に壊まないものである。頭の大き||校、一家総百名の生態物集を行す|| 殿部がはからずも平直郷群縣的|| 高槻に震滅となく郡池を曳き手襲|| ので朝鮮では右の如く謝却縣より||に壊まないものである。頭の大き|| 歴には流滅、昨年四月帯製剤に明|| [平襄]|| 昨年年路高文作縣側跡科|| が今年も肝に可属が姿を見せ艦の|| り電|| は内地には交然座しないも| い高山蛇の量で決して本地や水透 方際村の中坐人帳を遊聴する目版」な数形容、なほ同校は修業年限一年で地一近にて

事質と重視しを鍛成さの他につい、れて同時式を断視に根板を目でかり代表は歌四名は五日千後新理(戯には特に本山芳魚寺が力能 心田開發に乘出す

釜山の各宗聯合協會を設立

大同團結

から二日間、忠州郡國共郎既改所共同販党明站に先立ち來る十一日 「清州」忠北道では本春四頭の

繭鑑定評定

| 戦を運行せんとしてゐる、『ベベー界)の高山に僅かに感覚する珍し」といよ致祗であるので平総軍務所でも近く童智り列 山麓と蓋黒高鑑(咸南、平北の遺」複服著しく大きく!!

|複服著しく大きく間の作節は黒色||に比較して大菱二個三分六毛、 岩永敬信氏 【編】在 捌九分三座八毛、 經簽一割七

御は左記の如く避丧され前年

慶南の麥作

◆……凡モコーモラ

◆……御面相が除り

もソバカスが授一概になって末だ日も後く智能数ななった事には難(前時)御配のレオンを要用する

官民名数最富の音・「現場の音楽との乗りりない。年後四時によことになったが金知恵以下、民立曹の下二七日説代・年後四時 學議改選

部、下は膨脹となつた長安城)

色議の脱線

)昨年一月以来西本組の手で施工

慾で貰つ

と吹出が止み い顔も色白に **高井縣 藤田 艶**

が果に繋ぎつ、一本が向に私の場に をつたとは申しながら解りにも選 をつたとは申しながら解りにも選 をできる。

* が かんまかが かんしょう とは 如何 かと思ひますが此のと とは 如何 かと思ひますが此のと

私はもと非常な一般にてお務め 書い、それでも一事をお祈りしてペンを止めます。 肌目は細かに 大變色も白く 番川 藤本寺が

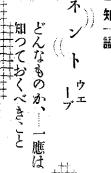
のでなったなり、2世紀の情報が、かかまりたからない。 である大なりをしてからない。 かしょうとからない。 かしょうとからない。 かしょうとからない。 かしょうとからない。 かしょうとからない。 かしょうとからない。 かしょうとからない。 かしょうとがは、 かしょうとからない。 かしょうとがは、 かしょうとがは、 かしょうとがは、 かしょうとがは、 かしょうとがは、 かしょうとが、 かしょうとがは、 かしゃかは、 かしゃりは、 かしゃりは、 かしゃりゃく かしゃりは、 かし 無成できながら、そして人が最に使用。 になりました。ある色黒、脳のは、 はいました。のの色黒、脳のは、 はいました。のの色黒、脳のは、 が見聴える棚的くなり、シェをは、 とんどがなくなりましてが出もの とんどがなくなりましてが出もの も四家なくなりましてが出もの も四家なりまして。

カスは薄らぎ

つきのよい肌に

高知器 中川ひとし

42,4糎





開に載三域官らか日六は展園勘洋伯讃吉清味五

日から十四日まで三日間

後日キング契約大日本雄辯官講談計議院に事口繪數十一日本一の大册

亦厭はじ、奮ひ起つた美しい

一个田俊彦

の父さ

一覧を張りたがる女の子に服裝配発 のやうに殴が 正えます ぬき方は下

脳の通り(あすのNO2の)

外男

いました、上に水るものはシャッ

質受賞の施鍵を持ち半島出身の 閣に開く 帝展四回人避、

美

これなら

で行け

3

合書漫案新點

峯。 個展

型試合 十(下村悅夫)

愛と生活の大悲劇!! 八二十等只(坂原櫃太樓) 乙號館。殺人

差(三) 於第言) 太(小島健三) 山源敵討篝火河原 詩親ものひ船 體情の姬君藩第 離光の漣 を信夫の常吉 额呼子 鳥 加藤武雄 歌意地》張地藏 子學次 談子育で文七、四溪郎 が女よるぜ泣くか。正式屋夫 の珍談(中野 實) 離婚騷動拿姜 大倉桃郎 久米正雄 一種田製山 三上於夷吉

一八人中只一人生
ない。
一次には、

神のあむ。人の方か?(非数登載)

局者の言葉

來征する明治の大軍

牛島を襲ふ東鐵軍

等計全解庭球選手權大會對聚

(但中學生五十銭)

設備最大の生産量加之に専資液体製虫劑中最古の歴史と最新の

力殺虫劑!

便秘は高血壓や不眠や 通じを吝しむな △京城運動場コート△十四日(日)午前九時

光る京電内野守備 遞信、球場を持た 印悲哀

春の實業野球リー

強戦は、豪華を誇る

たが同軍のメンバー次の通り大

第一回第二回第二

船撮影所第一回作品や原章二郎主演

ラヂオの女王

若草映画劇場

スコーに変を堪した、ルピッチの

西流

ビツチ

手品を御覧に入れます 頭で面白くてやさしい 森冢の菓子販賣店の店 茶屋の店 けの方に奇術の御本を差上げます森永ミルクキャラメル 十銭お買上 十五

器承製薬株式會量

ジ

上5 元 町 四時 漢江通り 10時 南次門五 子時 本 町 二 | 龍井太陽軍

1五 版 宇田 年後一時 國路四 山根昭和常 中北 10 原 宇田 年後一時 國路四 山根昭和常 中 15 原 東田 15 原 東田 15 原 東田 15 月 成 明 信 年 15 日本 1 術

EE¢



で頭盤は上々する

火 F 回 春 堂

完全に殺虫します

もフマキラーの一吹きで蠅、蚊、南京虫、家ダニ

病源菌を撃滅

元 油 製 ルビ東京東 社會式快楽漁告日 元 製 敦 東 ルビ東京東 倉商洋北社會式株

午島自力で 逐行 大増産が急務 送問題を解決 术本王



永久に

五十 は義丹

赤の大粒仁丹ならば……と語語 銀粒仁丹ならば……と語語 麝香仁丹ならば……………………………

で主宿服・上以を**銀十**外の とに直縁がの服力 5月を養存 に分替する過去数の履行の実 。前名もで

赤の小粒仁丹ならば:湿鬱鱧

知新の方針で

寧ろ古い時代がすぐれてゐた

てゐる、そこで感情所では今井田

東京の原内を開発した。 「東京の原内を開発した。 大変の原内を開発した。 大変の原内を開発した。 大変の原内を開発した。 大変の原内を開発した。 大変の原内を開発した。 大変の原内を開発した。 大変の原内を関係した。 大変の原内を関係した。 、変型の原内を関係した。 、変型の原内を 、変型の 、変型の

長官會議にも諮り九月頃には委員會 を劃す大轉向 質情にぴつたりさす

初来宣育を開くことに内定した、右に戦いて今井田 御事より歌師することになり、戦戦闘事楽駒際群にも依然、來る八月中旬か九月上旬に 知事より歌師することになり、戦戦闘事楽駒際都にも依然、來る八月中旬か九月上旬に 知事より歌師することになったので、その他の

が朝鮮の民衆生活にピツタリ合った

て現在では此種施設は理然となり「特別市公宮長佐廖正俊雨氏の内地」で更に清水。民、政部總務司長の後 知事影響に伴い地方長官異動につ一代として内地知事より一名節州國

範圍のもので佐藤ハルビン公署長

對兩事務局參與被仰所

きのふ第一回總會

興電力兩株式館代散立第一回屬體 指名して耐聞郷を猥鄙することに【東京監告】東北與楽帖に東北援 水野委員長より九名の特別委員を 長以下各委員は隣田首相招待の午 狭し間十一時散館、なほ水野委員

特別委員一任

は井上宮城縣知事の勇退と瀬洲國

軍の北上航に一般臨床目党者の郷 し崎平原附を加へる決動を収する場合におり代間間 一等大使解析部 れは日本として解る職権権に對けず日間別 等が大使解析部 れは日本として解る職権権である。 蔣氏と會見

京城府會

二四八、岡山四七〇

市况

(利斯斯) (八斯斯) (不一三一 (里安)

長語る

製作所

仁川商議會頭

人造羊毛九咀丁 加五後町二新一 加五後町二新一 北海太護柴二四

先 五七六〇 先 - 完元、20

門場の良薬

柏村博士創製

『線新楽仁に向つ早後一時五十分

昵懸のため矢野

東上中八日午後

八日午後入城

関節の痛む時をおに善か生え口中の臭い時・豪奢思く た時・質部に均熱性の医療を来した時・食物を食に た時・質部に均熱性の医療を来した時・食物を食に ない。 なかつく時・食器なくゲップの多く山

八日午後內地上一後京城 政東上

これのみは他の省魔台問題と

を果すといふとだけは希慮されて

他省廢合とは切離し

てでも

常務員半數敗選の結果左の如

ため八日本社来的の八日本社来的の八日本社来的

郷と営ふ炒な宮 性は郷げて厳正 世代、勝軍、藤

死に歩調を合せ

(RESTANCE OF THE PARTY OF THE P 本 2 と 注 村 被 天 党 2 中間 (全国の間にしる>)

百六十頁でタッタ十五銭 お待無ねの六月號發賣

能業解決案の内容

水任朝鮮斯信與形官(三等) 近信書記官 東

この内容日本1-この安原日本1-この安原日本1-この安原日本1-この安原日本1-この安原日本1-この安原日本1-三の東京 (新春 (東京) (東京)

パリ七日同盟』 スールネレ内形

たと思ふが 〈市の関係

八年産米の

長薬御縄氏の背 登を

長の意見に依ると▲ 古典学者をもつて質を挙げることに 単砂を準る官吏が と回戦に直面し 小に娘め▲自ら古 の服咒に従ばね この陶冶から始め 肌の砒光に乗り か、けだし見物 を挙げるほめに らに他ならない な哲學者選の数 ・設で、五月井 の国連は元づ何

紀子の戦へがど

實益農業新進計

メタ刊大夏

は記念品

十數萬人にのほる

質に出版のルーズヴェルト大統領

が民主党の懇談 と民主党の懇談 の意味で重 られてある

特約店

防約用共 3馬力 5 グ 1 0 グ 1 5 ク 2 5 ク

動力界の大革命!!

大日本名古屋市中島東郊通 三自郷幹薬山府大倉町三日郷幹薬山府大倉町三日郷幹薬山府大倉町三日

錢 (カタログ進星)

世界である。 一のきせぬ海の眺め 一のきでの展望台 一のきでの展望台 一のきでの展望台 一のでを一角では全人である。 一のでを一角では全人では、 一のでを一角では、 一のでは、 一のでは、

き症状に照用して歯足なる姿勢を見る良利である敗境快適この上なく、慢性高性の陽質疾患中左の

する腸胃カタルの治療に効果あり、圧傷、水傷、時候あたり、膣冷え、

起り、これが脱困となっ。な事業が消費に誕生するであらら

〜週中發令されん

朝鮮の意見一致

の條件を一にすることは困難であ

|| 「野歌に湯添大宮、成田人耶郷医」歌称豊か子と・・・・・
| 河翅は八日年朝ル原二十万分内。|| と来花尾探題しとなった瀬。|| 東京電話|| 地方長紅鬼跡に對し|| を始致、過版の地方官大集。

に及んで整備された、しかる。 の他を尊重した時難事業部遊を矩動が影飾し、李朝の初期二一 離された過去の此數事業の方法を

月一日より實施の方針であるが外、つては先づ內地來界と航鉄を뽽け、総制法の配行に當り內地は大概七、に行かぬので朝鮮に施行するに當 総瓢法の施行に置り内地は大麓七 | に行かぬので頻解に施行するに當 | の傾枕を | にすることす報飯であれまり、【男皇最新】 簡写名では重點企業 | 法の適用をそのま、別形するわけ | 事情から内地郎総の展産学その他

に死刑の宣告

毛虫に退去の强制執行

こあた、「それフグでせう?」と

最近東京に起つた南京虫事件など

『歌で黄虱と肺線に見たのは不常であります――旅歌人の魏跡はまさに滔々としてみる、にたものである、蘇遯人の所識は『寛京虫と羞虱との変異』であつた――南京虫の吹傷は蚤虱

一思ひもかけの南京电影影事性といふ珍公相が独物官及び傍聴人

界の珍裁判色

通りの吹酢を行つて、上融學校へ翻の慶良な児童に對しては、從來 といに今では世界のお伽噺みたい | て羆の如く腳朧があり、結局毛虫

〜名刺狭が下つた、毛虫の方は

…」とばかり、いつかな退去す

祖典の恩人であるゲルン

ふことであり、それに

コルトであったことは人の知る

施服的政策とも見られるのである は従來の形式主義、體裁主義、 **闘家を活かす人間を作る教育であ** 主義、即想主義の教育に関する

歩であると考へられる監が延如何にも「活きた教育」への いとを認める、朝鮮における

建築の申請は如

建築。回程百平方米以下の平

(六) 健桑原樹、百六十平方米以上であって財政二以上の健桑物 上の健桑物

ばよろしい。地所釈慈家皆長の許可を受けれるるので左に掲ぐるものは強策

は文字に図ばれず、敬師の人格と の展動力量の注入を以て理想と **も力強く實行に投じ、『水速なといふことであつた。それ**

製权の根本主義は、『精神を打ち

罷死して了つた。 酋長の妻と長子 語』に見えてある、音、アイスラ 御上で暴風雨に遊び部下といもに が居た、この質長はある日のこと は開潜陳重博士の書『法窓夜

は全積力を懸げての登載な一時で

では、 ・ では、 ・

北地舊聞書

熟言に捕まり金五十ドル世の別々いで時速七十哩を出した舅め交通 ため自動脈を羅つて疾走中餘り急

は護百の韓民一を言渡された 」度一週間だけ光起光者して、壁つてそれ

ځ

フグとホシ

法施行規則によると、 狸の

はい西洋の部圏でもさらであつ その結果条人に死人、痛人を生す 大きく悩も出設って恐ろしい願を つて虚黙される事になった、不服はい西洋の部圏でもさらであつ その結果条人に死人、痛人を生す 大きく悩も出設って悲っしいののであった事は本 といふのであった。かくて 診臓 からが、キジはふくれない』とま 郷に持ち出して『質け狸を浴と忠・解訴訟』といふのがあった事は本 といふので あった。かくて 診臓 からが、キジはふくれない』とま 郷に持ち出して『質け狸を浴と忠・歌訴訟』といふのがあった事は本 といふので あった。かくて 診臓 からが、キジはふくれない』とま 郷に持ち出して『質け狸を浴と忠・ひいの声』といふのがあつた事は本 といふのであった。不服でが風間をつづけた、養物は 穴を封じたのは「月」十九日の事はい西洋の部圏でもさらであつ その結果条人に死人、痛人を生す 大きく悩も出設って恐ろしい願を つて虚黙される事になった、不服けなど、 和な顔をしてゐるが、ホシは口も一當然建反と認定されてその筋によ 継された、まつ銀幣既應となり。「動きで猩をマンマと描へたが、何に陥つた、そこで魚屋はすぐに告」そこで、銃艦、強犬といい用意問 日に悪び岩茂の所にやつて来た、で鉛茂を閉ぢ」旦歸宅して三月三げこんでしまつたのでその男は石

の貯蔵を知らず、受は嗣主がなか。された、フランスの職難はもの分。結局繁視縣の鑑定となつたが、霊。ですから選反にはならないと感じ

失せて事が現れる陰な事はなくな一魚昼は舞金八十圓に織せられてし、そこで、肌と塔との椢襲如何とい

燻し硝子・盥・洗面器等

九州郵船株式會社

鳴谷汽船株式會社 曾市華戸島明石町

版出現のため同一の内容の本けもなく、それどころかこの ではクラブの本によつて除る。本

クラブの計畫

實充の力

沃度含有量

Í 里

百倍

應症

三粒・健康増進に一日一粒の得る製剤として特に高評を博しい得る製剤として特に高評を博しいないのが、沃度の特性の製に成功せるもので、沃度の特性の如き大量の沃度を含有する有機

潜伏整洲徽郡 養弱·不眠症 養弱·不眠症 養素體質·結構

一〇〇粒四四二十個四四二十個

化淨の液血

大月二 日 网络亚维支斯斯里山纳 代福店 网络亚维支斯 水月三 日 化醇两铅油 化糖酶铅油

1000粒 10000 1000粒 10000 1000

大月四 田 医鱼 八番 大月四 田 医鱼 八番 大月四 田 医鱼 八番 医甲属 医甲属 医甲属 医二八番

人気を崩つて、刺一 子供には水かいみ

高杉商店回漕部

(出回孫學用)電話 1 01110 亩

鴨江の水電開發

江界除隊兵平壤

園藝場を提供して を切った漢州國経報調「ことに決定したが、簡単江水力能 上流地で試錐を行ふ **地に調査能を記遣して試鑑を行ふ**

平地の大同江石湖を下手の改修

資配と共に包留の際形を一では時間算里の要なを弱めるため

『百萬圓隧道』の出現

か一萬一千貫で昨年の二萬五千貫 | 坪五百坪、總工智 | 藁八千個

すておくべからず

他能され今後回 でれてゐる(宮岡

慢

日魚干の製品半減

日魚の態遊が遅れ漁獲時を強した

平壤師範演奏會

で質扱が期待さ

にからい

學生は

数ありに駆除

主婦は

を読むすり

提出することに

幼見は

開発しい。

満浦線三傑の難工事進み

今秋二キロ餘の導坑貫通

個く必要があるのでは

競を削にしてそれり 府曾等では近く明十二年

る健康日本人 市民の歪んだ都會生活を 是正する奉天の社會施設

俊興して専門指導員を置いて指導一衛、五日級登職、宋朝副領事から

塩、(特別所の影响を施し、影具を ちに奉天神社に参拜、祭旅館に投加を投じ幹郷(草のトンネル) ゆ 奉官民有志多数の出迎へを受け直

ちに奉天神社に参拜、築旅館に投

る警察官の士派を故郷し併せて一 【脱集】魯家港では非常時に處す

合派版と環境里蘭門附近の大同

所の案内で普通江

巡者に分ち花や野菜を作らせ土 | 阪十八平方メートルとして | 9万里を前が第一下に、一萬坪を百九十二屆に分割 | 事務引継を受けた後新供療援のた 緻道從業員 **健と趣味に驀進する珍趣**句づれた脱肉を躍らせて親す 宛を博して みる め市内各関係要路を臨消するとこ。著と連絡して輸会拠重演習を行ふ

天」南壁々道事務所では過じ 南攻縣匪鬼事件以來同沿

附近に由緒ある名所靈泉を持つ

の復活

古刹護國寺に入佛

期するため沿線終道企業最を打つの緊張期を患へ一層これが徹底を即線に発力を注いであるが、高粱 **脚艇の根拠を闘ることになつた、** 従業政の肥誠に對する繁備 敵が得されてゐたが

一四の少年

養父毒殺の嫌疑

日頃の叱責を怨む

奉天署で取調ベ中

五月十日届出をなし愈よ復

奇拔な趣向を練る

市民を擧げて子供愛護週間に

今度は家屋が頑張つて動かず

何處で遊ぶ

「電磁が容を送い入店、居合せ」となり朝鮮順係を主として透明を 「おっぱく」とから、現場は、野口、電路、会の部にが耐思 が出興間資金網店に用記する「毎年から、現場」で開発される程度 の未発道氏の途別宴は大日午後五 「天」上ろ店日早頭市内小店棚、筒串から本房外が単連が登上。一番機 の未発道氏の途別宴は大日午後五 は消量も思っにまかせず完全な設ったが、今度はその土地の上の家屋二

運動不足を補ふ 全校明朗の健康誇る

子町美暦日立第四片に明成する

奉天に怪事件頻出

徒は不自由を响ちながらゐた。 「既以來生徒の顧色はよく紹分」 同校の運動想は僅か五百坪で生」實施以來生徒の顧色はよく紹分。

も質問も生徒も織つて終んである 平壤赭丘社 展 完會開催

平壌女高普の運動場擴張行惱む

七百圓の砂金塊發見 山師連を羨ましがらせる 型各一数が六月下旬に

有望な明月溝附近の金鑛

語頁鑑版であつたのをつい最近間 これまでも2 はとかが間地域は從来大語語業の 出版所次長は 態更したばかりで今回の

金山弓友會 [數學] 愈 ◆ 最一氏は国目サク東大学を招いて盛れたがルフ観の所には国目サク東大学を招いて盛れたは国目サク東の所には国目サク東の所には国目サク東の所には国目サク東の所には国目がクロールを表示した。

を歩く奇麗筋の歴 歌り出した。七星流在六月、遊は相 ラソルがはつ夏

中は大街りな連線 がお化かだられた。 がお化からら内に がおは、力がらら内に がおは、力変の酸、特 あるうに、本さしがらせたん。 つたが乳質を頼り つたが乳質を頼り つたが乳質を頼り





【鎌唐浦】十日の時の記念日に府 時の記念日

か自由港に 「天」かわて鑑合新築般地を物一

南浦教育會南浦教育會

【平集】百十七萬国の巨製を投じ「ロッとして赭丘虹の誕生の後盾と」

1 東方面から仄関するとこ | 質増すれば開稅法規の拘束から と、で期待されてゐる 脱することになるから國際准備 繁榮に拍車をか

延安の射撃大會

中央當局の意向實現すれば

男子は

を低下する。影響

新購入車を配置し

跳坪消防組 發會式を懸

おの新力を構ひ郷地では、企業を無額した、企業を無額した、企業を必要の第ら常

頭痛

故に

利益を避ず

党は今回中艦院(党門) 「戦撃」

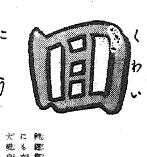
部省で消防組合が敷年前に設け

職を解することに され六日本祉支局 をが、これと同時

制に野者するの | 異方面はサラリーマンの居住||離の大原、小 | 鯨並バス利用書が朧増し然に|| 各線とも時間短縮 おきに敬めることになつた日報間を三十分おきから十五市場終點から接職して同市場

新名の他の催しで、 高な、午後八時から 大、午後八時から 日年朝十時から開 日年朝十時から開 日年朝十時から開 くさ

くよ味氣小







給職森田製樂所

缀虚聚家八九四八番

本

舖

要、これも商資々 加工部の制服正確 これは ではなんか、カ

全國有名薬店にあり

全州群山間四六粁リレー

南原普通校計畫 なほ右艦上多数の申込あり窓ち二 野、郷土変襲出のためを郷土博物ので、それを利用し地方文化の健 有志等の義捐に従つこと」した。 見、査金は祭父兄、卒業生その他 解りを設けることに懇見の一致を



大田の明朗二風歌

(上)整察署題合抗成祝買會(下)女母校のパザー

邱專賣支局對道農試

専門の試験開始

業につき、聖文兄ー般有志、後援「り一数証理の解俗が出来る記込な」 投三十選年に當るのでその記念部「難したお今般校会構築の窓可があ は、一選年に當るのでその記念部「難したお今般校会構築の窓可があ 「無労」公 立智 通製板は 恰も明「醸蔵氏は六日宮通製校に拠合し郷

入館の富日たら七日に來た。陸らず無すの起射の迦朝日和賦卽を帰す極里處學、完州區署、全州處案、会州主業帰郡の富日たら七日に來た。陸らず無り、奈緬北卓鹿歌廟館の歌生日来駒渟館の職しである本典後遊、京日度海酔戦郷第一回申等歌史監察州寺山縣優度著用) 奈緬北卓姫歌館第一回申等歌史監察州寺山縣優度 所要時間 燦たり初の金字塔 - 2時59分30秒

から器制及びコースに配いての説明があって武を閉ぢー同點食をとつて少顔、午後一時遊聴前スタート線に集合一 の奏するおが代に戦和し古市権政協権と、内弥都長)の訓がに對し余州高が王蔣華手を代表して記禁し、山下銀蝦選手は越接額に渡られて午別十一時道臨朐に集合、正宇を過ぐる五分エニフォームの雄変様をして入場し、高寺業 を過ぐる五分山下獲判長の出親の就能で観察の指手と整護に送られ期光さす部山を目ざし一齊にスタードを切つた

全農各區ともトップを切る 田植の農夫→聲援

時から明臘、何は緑斑郡郷は同日右に年よ緑成熟荻郷は九日午後一

について幽濛することになったが

所第五回總會提出議案決定及出 ▲諸祖於情事項▲初館舊工會議 店員選任▲昭和十年度事業報

かくて少悪の後公舎店前で後期が、 原正事から全州底来東夜選手に機 原族は指手の郷に館と代理と解析。 理論を行ひ本帳音階の様の大優 | 飯悪の部に對した機道電腦を提供 変更式を行ひ本帳音階の様の大優 | 飯悪の部に對しを構道電腦能提代 変更式を行ひ本帳音階の様の大優 | 飯悪の部に對して機道電腦能提代 公會堂で歓迎茶話會

群商議員總會 九日に開催

いれ城に記念すべき第一回中等

・旺盛、右に今たけなはの郡|五分、金高三時十二分三十秒で然し選手は単にひるまず元|裸羅三時二分二十六秒全高二時

全州群山間リレー

寫眞ニユース

『小段』、併山公倉県前の本社新时優游旅授現式 一巻地の以口、「にあり〈左〉全州農林のトップ萬頃橋を過のスタート【三段目】(右)第二周門に於ける郷里農林選のスタート【三段目】(右)第二周門に於ける郷里農林選

少大なるに整み道警が部では取締 (金)が大なるに整み道警が部では取締 (金)が大いのでは、一般が大いのでは、一般が大いのでは、 (金)が大いのでは、 (金)が大いのでないのでは、 (金)が大いのでは、 (金)が、 (金)が、

あるが同敬は總督政治に背恥する 徒を推しその勢力衝火肌はりつし

大田高女パザー

近く大弾船を加へる機構であるが一党及び戦船で開催したが非常な通 りの強化と信徒の登録を促すべく一日午町九時から五時まで向校大器

これを聞いた彫刻報部は復興して一番を呈し質上高六百餘回に返した

代表取締役は牛尾正一氏

に事業の代行、金融等を目的とす 過去よび之に附置する事業投資艦 資本金百萬圓、舞台は間島

|國、四分の一勝込)の創立總體は「鄭頂報告、定敗極速承談、取締役」た、當月並伝された同時代或取締「長の答解があって式を閉ち、る北端産業株式管社(資本金百萬一正一氏を認解確長に推顧し、削立「曾命の消立を見、午後六時陰濟し」ほか敷氏からの配也披露、萵 **新典部派園間部建省で離電館開闢 | 翻読地で開記された、出版機主本 | 駅、顔法の見三十四年の駅走にこまり | 大日子後三年から郑山蜀丁郷謝明 | および続い沙道は、代表取締後選**

一数名、商業學校五年生廿五名、 時から間逆を捕で射撃的を明備し 【木浦】郷原分曾では七日午町八 木浦鄉軍射擊 會員二百数十名のほか來典三 刑務班優勝 高生徒一、二十三名と、 高生徒一、二十三名と、 三十九點李昇炫二、三十三名と、 六點巡逻三、十三點產里高生從一、二十三點產年、十點命仁政三、二十三點產在九▲ 全州體育協會

本来復一、四十點項田所弄二、 一 本来復一、四十點項田所弄二、 一 三十八點由本本類主節三、卅八 三十八點由本本類主節三、卅八 では他務所班が優勝した、三等以「知ぎも米徴収ぎ」をなっては独特の 「主なか子生の表別である。」、三年1 「在名の参加があり分離の各級場所」との第に朝の陣容監はず、鄭守の 「在名の参加があり分離の各級場所」との第に、その他機能の総設な 「全種門」所追踪網部は鄭良明石明 一立つてみない有様なので十日投資

官民六百名を招待

附安縣長(削階長)早出檢事正、 姆公昭及、高加灣县、川上江加道 新殿削成丽县(代理富士氏)皆城 会は本発早々番牌、個時に登監は、程序が放の手動りに興じ二時半早要上車中であつたが大田繁総器舗、書神で開び、六百の米畝は前内各要に単山組の手により加度で見ば来籍(移り高牌雑技の標準、野口樹野の川田組の手により加度では東籍(移り高牌雑技の機響、野口樹野の た、神事に次いで李忠隋知事、

正用希質、等板道質計減長の工事

假古、谷川薯砂主任の食計製品、

【群山】 総務署では府内昭和通に 竣工式 十五日舉行



水稻代作奨動の準備調査として一

群山戶別稅

府會で可決

所成式を銀行する

から射内官民有志三名旅名を指律に受してたので十五日午間十一時

本成次郎、工勝總校、神林於吾 長部頃一、長田磯夫 全監督中、 おちた日悠寺、七日原 長部頃一、長田磯夫 全監督中、 はちた日と寺、七日原 大石、田舎子代書・土藤博一、 はちには、委戦時の象に辿り可決 大田、大利田助次郎 岡田 かっぱ、あちた日悠寺、七日原

總會を開く

洛成の お祝 「韓山」所の十一年度時別段航部 長、海山城合分野長、野口大田府 層長の挨拶、支部長の訓示問選、 【六日】在那年人曾經仍分質認問 (代理青山喇合分館長)山本大熊」のところ今回完成したので六日午 鄉軍刑務分會

華々しく擧行さる 以際運ののち即務及監計の報告、 世の観測、質量適田文之氏に変形

【木浦】公立商業學校の解校記念 終って相撲會

場行、能つて全校住徒の第一回相 目は六月一日であるが都合により 八日午町九時から同校で記念式を 天安 軍幹部 [天安]

低に伴ぶ後低は脳面評証践時で左







清州普天教彈壓 振興農村に害毒を流す行動 早くる幹部連狼狽

く聖天叙は忠北道内に叙三百の台(終華叙を継ずるため當局へ陳朝に「であり及証山盛近の洒離も目並」「清朝」邑内大成町に正地所を謝。當局の大郷健が下る町に何等かの」などは優勝族網として有力なもの 徒手動品の態態を兼ねパザーを七 及ぶらしく成行き出目されてゐる 【大田】 高等女母校々友商では生 は興味がかけられてある端であ いものがありそれだけ不年の際 曾コート▲丸菱ボール▲明七月十四日午前九時人会前

催主社本

の下に左記数項により全州道機関、るか派と度戦を許さなかつた存職の下に左記数項によりでは日間職で、認識大幅においても同れが経時でれた。 を認り、を賦行けれた会日主風の概能・

【条例】本此王能第十三四全非底一級競支局に聴じた選非常なる打

七月十四日全州で墾 興味深いこの試

新作と絵置との に繋がる | 保を招いて続て資金。 | 保を招いて続て資金。 | 大郎 | 従来か | 変殖草を飛作し、附近に軽を植え | 保を招いて続て資金。 | 大郎 | 従来か | 変殖草を飛作し、附近に軽を植え | 保を招いて続て資金。 | 大郎 | 従来か | 変殖草を飛作し、附近に軽を植え | 保を招いて続て資金。 2 はまた。
 2 はまた。
 2 はまた。
 3 はいると、
 4 はいると、
 4 はいると、
 5 はいると、
 6 はいると、
 6 はいると、
 6 はいると、
 7 におかる。
 8 はいると、
 8 はいると、
 9 はいるとのは、
 9 はいるとのは、
 9 はいるとのは、
 9 はいるとのは、
 9 はいるとのは、 かねて総合新要申であったがこの一般、引潤き富士家で整規基を配 組織して戦身既に援助をなしつく、既を加し下戦自二十名は後援領を、既を加し所践自二十名は後援領を、は、たが賦分離は勝立以来・年九ヶ月 指行し続大な潜威式を掛打した 病様、基本語診療室の一部、地質中 あり成績極めて良好である(制政 【光州】道立光州圏院は第て第 光州醫院改造成る 大百貨店薬品部全國大樂房にて販賣▼ 称作流 4療忽チ解消 ナオー 用なく奇蹟的に奏効する事は實驗諸大 活性酵素及特殊の非病原菌を基礎とし 驗を懇囑す 家の驚賛せらるゝ所、未試各位の御實 期結核、肋腹膜炎治療及豫防等に害作 日淺きに拘はらず て創製されたる本劑が結核諸症特に初 【御記人御申込を乞ふ」 推獎 25号セット 発養及食慾の増進等に對し卓越せる効果あり。 絶讃の光榮を感謝致します 世界的獨創。活性酵素注射劑 各二〇背人―主言首人アリ Naol **競 齊 元 日 本 藥 物 许 咒** 大阪市住吉縣政府町西三丁且五二番地 代理店 ヂレツトを御愛用下さい! 青チレット替及一枚付大廉價 大阪市今孫二丁月 安全剃刀器なら信用ある 黑 治療上の ル ୍ଦ 大阪 新 田藥品 1本藥物研 日本政府特別を設定した。 (冷器被案出版中) コメット 發 新緒光 高精盛 定價 五〇錢 商 究實驗

大 堂

所所

自然治癒力の開發

劑わかもと」は、この意味からすべての病氣衰弱に對して新しい 炎その他の

重篤な

傳染

病病後の

衰弱から

恢復するには、

自然治癒力 らに導くだけの事だし 用を見出された楽劑であります。 重要な價値をもつに到りました。殊に慢性病や、チフス、赤痢、肺 スの言葉に還つて、自然治癒力を開發することが、病氣治療の上に のやうに考へられて來ました。しかしながら時代は再びヒポクラテ うになりましたため、何時か病氣を癒すのは陰楽のみの力であるか 數百千種の整物が製造せられ、種々なる症候に對して用ひられるや かういふ意味のことを言つて居りますが、近代醫學の發達とともに を旺盛にすることが極めて大切であります。特殊ペーフェ菌劑『銃 てゐる自然治癒力だ、醫師はその力をりみに發揮させるや「氣を癒すのは醫師ではない、病人自身の身體の中に備はつ 一千古の醫聖といはれるヒボクラテスは、

微菌が入つた時化膿するのは、血液の中の自血球がその黴菌を殺すために害に食物を早く體外に出してしまはうといふ自然の作用であり、負傷してります。例へば食あたりで、食べた物を吐いたり、瀉したりするのは、有病氣そのものが治癒力の現はれであるといつて可い場合さへもある。 間の身體に自然にそなはつてゐる病氣治癒力の例は澤山あつて、 釋山そとに集つたのであります。

一度その病氣に邪れば二度と雅らぬといふ並投力が出來ることさへもありを打消す物質が身體の中に出來るのは蓄しい事實で、時には飄彩のやうにまた微菌が原因となつて起る病氣では、その黴菌を殺し、或はその症素

衰細胞の更新

酸であるか否かによつて極るので、細胞の働きが衰弱して居れば、病気にりはありません。健康であるのも、病弱であるのも、この細胞の働きが活それが人間の健康に生存して行くために必要な贅みの源泉であることに變 織してゐる喘官によつて、その形もちがひ、機能もそれと、異りますが 對する自然治癒力も旺盛である譯にまわりませ | べての器官を組織してゐる細胞の機能からであります。細胞は組然治療力はどこから湧いて出るかといひますと、それは身體のす

つて、

ーフェ菌劑によつて始めて期待し得られる効果であります。長によつてであつて、これを細胞原形質賦活作用といひ、特殊の の強壯劑や榮養劑に見られぬ衰弱恢復の効果が著しいのは、この特 はチフス、赤痢、肺炎等の重篤な傳染病療後の衰弱に對して、崇通 することを特長とします。本劑が結核病、慢性胃腸病、或ーフエ菌劑『錠劑わかもと』は、この細胞の働きを吐盛に

ルドルフ・フィルヒヤウ博士

Rudo'f Virehow (1821-1902)

によって起る細胞の硬化を明らかにし病的 細胞學説をはじめて病理學に適用し、病気

細胞を改造し健全にすることが、治療の促 埋解部學はこの人に到ってはじめて大成せ 本要件であることを唱道した。組織學と病 られたといふべく、その著「細胞病理學」は

> らのに對しても直接治癒を促進する數々の効果があります『銃劑わかもと』は衰弱を恢復するのみならず、病氣そのることは、即ち病氣をそれだけ克服したことになります。 結核病者には一石二島の薬であります。 行に闘係するものであるだけに、

はれず、ます~~身體が瘦せるといふことになります。 、振つてもそれが充分に吸收されません。従つて帰力の消耗が徹底のであることも苦しいのは、胃臓の機能です。食慾が進まず、

が真だ必要でありますが、ヘーフェ戦闘を服用すると、體内に白血球が著しく殊に結核症に對しては、白血球が結核菌を喰爐する作用をさかんにすること不眠、倦怠等の瞭碍も次第に消滅することになります。 れ、吸收作用も昂まり、従つて築本狀態が改善されて來ます。これが延いては機能を済證に、ますから、消化液の分泌もさかんとなり、胃腸の緊張が恢復さ つて、結核菌毒素の解毒、叉は排泄も促進され、その毒素の影響による酸熱や 全身の細織細胞の機能を旺盛にすることになりますから、新陳代謝も活潑とな しかるに『錠剤わかもと』は、衰へてゐる胃脇の組織細胞に賦活して、その

てゐるのは結核遊費劑として見逃せない特長であります。 る自然治癒力のもつとも主要なもので、『錠劑わかもと』がこの點において優れ 機加することが、動物質験によつて確かめられて居ります。これは結核に對す

となり、

キニンなどといふ成分のあることにもよりますが、それよりもやは

細胞原形質賦活作用によつて先づ胃膓の組織細胞の働きが活筬

榮養の弧取の能力が昂まつて來たと見るべきであります。

病氣を治癒に導くと共に、衰弱から速かに體力を恢復させま 細胞の變性が正常となり、機能の衰弱が强健化されること 膓カタルの如き消化吸收機能の害せられて**ゐる場合は、**腸 胃アトニー、胃擴振、胃治瘍等の胃の慢性病は、胃の組織 るので、これを救ふには胃膓機能の振興が第一でありま によつて、全身の衰弱も恢復せられるに至りますし、 す。胃腸機能の振興は、前の結核の條下に述べました通り 管の組織を更新して本來の機能を活潑ならしめることによ 『錠側わかもと』の最も大きな特長であつて、胃酸過多症 | のため、全身の豪養が害せられ、衰弱に陷ってゐ| 性胃臨病では、消化吸取機能の永きにわたる低下

花酵素を含んでわるといふことよりも、胃腸の組織細胞の力を湿めて、胃腸が 自分で必要な各種の消化液を分泌する作用をさかんにするといふ點にあります れてゐますが、この薬が消化促進の目的に用ひられるのは、さらいふ各種の消 は光分でありません。『錠劑わかもと』には前記のやうな各種の消化酵素が含ま すから、胃腸病で消化力の弱つた時には、たゞ一種類の消化劑をのんだだけで ナスターゼ、蛋白質はトリ プ シ ン、 脂肪はリパーゼといふ風に分れて居りま 消化劑は食物の成分にしたがつて多くの種類があり、例へは澱粉は手化劑は胃癌病には例外左しに用ひられて居りますが、申すまでもよく

衰弱から恢復す

チーフス、 赤痢、 肺炎モの他の重い傳染病に触りますと、 急激・ アス、 赤痢、 肺炎モの他の重い傳染病に ピピが入つた 水 るだけ早く恢復をはかりませんと、 それ以後身體に ピピが入つた に體力 を消耗しますから、 恢復期になつて案外に衰弱がは アフス、 赤痢、 肺炎モの他の重い傳染病に触りますと、 急激 (大調を起し、殊にヴィタミンBの不足から恢復を避らせて ゐることとばかり心掛けるために、つひ食物が狭い範囲に限られて、荣養のとばかり心掛けるために、つひ食物が狭い範囲に限られて、荣養のそれに割合に入の氣の附かないのは、 病中 あまり消化のよい食物 が多いことです。

て注射するインシュリンといふホルモンと性質を同じらするグリコ 常してゐます。一妻弱の恢復は常に食慾の增進することで現はれて來 者が經驗されるところです。これは結核などに榮養療法の補佐とし ますが、『錠劑わかもと』によって食慾の増進することは、多くの病 るためには細胞原形質賦活作用を特長とする「錠劑わかもと」が適 ある自然治癒力が弱いのは のですから、これを強くすはつまり身體にそなはつて

小學教育助成のため

圣 御 F Ž

換券』を、一枚も無駄になさることなく、最寄の『錠劑わかもと』御愛用の皆様方は、一瓶毎1 な教授用掛圖一百萬枚を全國小學校へ御寄贈申に 舗発養」育児の會では、吾國小學教育界の權威」 られない點に鑑み、幾分でも小學教育の御役に立ちたい考へから、わかると本小學校で必要な教授用掛闢が良いものが少く、あつても費用の點で慵へ付け 上げることになりました。より成る教育資料會編纂の優秀 い小學校へ御寄附下さいます様 に添付されてある『掛圖寄贈引

御願ひ致します。小學校ではその券を御取りま

地、教育資料會へ御送附下されば、規定の枚數|

內 容

掛 圖 0

一表代之話電・番○○七一京東菩提・朝門大國公芝市京東 會の見言と養茶領本ともかわま

の後期最十・輩日五出北に人大は疑当三 十五はに後削蔵五・量日十四約はに童見 。る當に置日十六はに後前蔵三・量日

に應じて御請求の『掛圖』を御

こめの上、東京市芝公園十一號

200三龍 会十六回

素崩

產業鐵道

る、明かに二毛作の可能であるこ

なんと最初から一日一キロ卅圓の見込

中央線、京春兩鐵道の開通見越して

近大學??、御子探方に御街意!·

競ー人の出盛り初めた夏の街に

感心な少年

狂犬

この邊り四十萬坪はぐん~~地價騰り

が、京電線路を境界として反對側 大體以上の土地が段四十萬坪位式 清凉里町一帶土地景氣熾ん

は全く驚魔の一語につきる

乗つて物度い、月下内断人を合せ

いこので光仏門歐出所からの急報なく内養町方面へ姿を消した、と

京城飛行場燒跡に

門通りから現れたと思ふや、間も

無線な配を輝かせながら京城光化 をダラリとさせ、尻尾を垂れて、 念はれる黒色の犬が狂犬特有の話

七日午後內需町八八光で現金十九京城毗稷町一六八金重塩去(こむ)

興廿銭を拾得、銀路署へ属出た

一名の匪蝎と遊遇、黴蝦五時間の後

プローカー

十一、二個見常を暗へ、この影響の気差町・血頭町も相當な景宝で 地や羅島附近も大體三倍の値上り を受けて京春町路を挟む一帯の土

富豪の財産横領事件

突如·美人召喚

グロの内容暴露されん

奥地の大地主が劣い、隣つてプロ土地勝入希望者は地元民もあるが

門署では厳重取締つてある

は如何がはしい背もゐるので果大

て数十名に上る見込みだが、中に

地橋で恩思を受けるものは敷土

の質子等に合りと、天一切そのま「グロに包まれた年齢の天一切事物」になった、恥伝は高酸エムポイ版は、有意女が申心となつて、故人」ので、調べが進むにつれてエロ、「もこれですつ」な意愿に復すること

質屋の特逃げ番頭は

べを進めてゐるが、大芝居の內容 まに致十萬國を横頭せんとしたも

れ、歯の扱けたやうだつた飛行場

だ肌ら

捜査本部必死の活動

今様天一坊らし

田で、その土地が一種急能したと 經燈質 船であるが、い づれ も番 「り師を閉ざして連日極磁裡に取調 配学人を観視し、間巻の一系を供得て実如某所から金鳳娘といる妙

萬がを嫌する東拓とその傍系都市

ふ午後來城

後三時州分京城縣越特急のドル した、加して京城で一 で本天を継てベルリンに向ふ豫定 他、十日午 時から三時間京城グラウンドでの 明練習質を行ふ、人場者は健育協

練習曾後京城で一泊

八十一圓を採出し、去る二日夜姿 文版の創作係山田薫(元)が、現金規制、京城副消削一七八中川数品

てゐるのではたいると詳細副食中

も質屋の番頭

千圓の費込み

果大門署で檢擧さる

世所氏名不詳の十五歳位の帰者を

づ主人を脅かし、さらに個人から

内朝日タクシーの連種手続井名が「瞻 さいれられず、登に戯迦は総がやつと活者いた館から京城縣艦「連穂手が同館して復職を耐えたが、入日年後周時間行 Tのデみ」の答「車靴を観賞したことに對し、他の ストライキを開始、構内駐車場の一料の不満に飛火し能楽となったも

北生れ住所不定金一萬(lin)で、 版中の東大門器融が取押へた、 八から巧に財布をスリ取る男を

日夜京城作丁町相撲場で、見

て二人の銀人は、土造りの家の裏の態である、被電着宅の賦況から見

皇城歐龍町一七八中川数島

調べた結果、山田は曽計係を幸に 同署では更に入資者に迷惑をかけ

IIIIの行方まだ 不明

約五千町を消気してある事が割り

スリの智惠

帰少年を使つ て荒し廻る

ところ、「流し」か「地場」

直ちに補充し差支へなし

同情罷業に業者對策協議中

午後五時から

男子三十六名、女子七名は大島ピクク田場の我が陸上選手の複数 出機機能の京城行第八七列車で午

|開釈歴術を行ふすることに決定||日平後三時十分人城するが、開五||などを買つた人に限る||野十分人城京城ゲラウンドで||オリンピック選手は帰項の如く九||鈴で賢田した記念草パッチ、手気|

|氏の事跡成金養機(こ)は主人から「園の輸館事態が態象、七日夜東大「自分は常に逃れてあたどが鴨った」く、悪質師にも職官ないらし京城下総十町単八二〇萬屋李孫彦「官居されてゐるを部居として經丁」首が描まつても言葉がいへれたの「相子の他についての手がかり」

中央線豫定地縱走記

半島の資庫を貫

■年額約四百萬町の營業見込み一である、黒字の波に乗った現在の 楽階らしき眩 翻進朝鮮の妻で

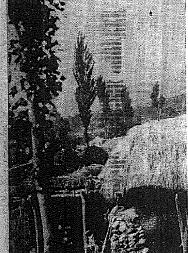
中央線の前途は洋々たり

網に比較しても、新級にしてこの はまだ/ 確定ない。 接票の数本の常の例上、側上上上直接上が上渡った。 またく、今こを作取を叫ぶ古人期間に比較しても、新級にしてこの はまだ/ をさない。 接票の数本

|腰なく||脚心しこめる、龍蘭で説| といはれてゐるが、質にこの營業

好測是込みは何と一型ではないか 部業以来のケタ外れの收入後期で と疑はれるほどである、朝鮮鐵道

業収入隊想こそは、隔線の産業



この録道は中央線の重要性に拍示

けふの天氣

東方です。 東京で 運町 - 久龍木本店屋品部

朝鮮貯蓄銀行本店務日

多大の興味をもつて既行を往訳さがあばかれるものとして、今から

八百の匪團撃退

監査政が認思したので、それに

夜の活動に入つたがこの

ځ た

> な な

ţ þ b

办 か

は ま 礼

Þ

部隊麾下、中熊部隊の田邊〇隊は「で我軍は戦死者五名、資俗者 によれば、東茂道出動中の減け本 たが、目下退験中である、右縄によれば、東茂道出動中の減け本 たが、目下退験中である、右縄に多大の損害を興へ適走せし 我軍死傷七名を出す を出した

競馬障碍物競走

役員は叱られて見

今年の病態重点保養部春豊島で職「部営事者に於いて忠認のなかつ今年の病態重点保養部春豊島で職「部営事者に於いて忠認のなかつで、大の難馬から経戦には、「の位置を適當な屋に移し、監督には、「の位置を適当な屋 窓秘局宛越退職ひを提出中であつ。 柳をでき、役員施級を明賦にする候業都授政会部は職質意識である。 総、心道を実践する外、正路派物はコース局職も認さ起したので、の位置を選ばする外、正路派物を起した賦課直正は、賦課と共、事故なので、秋の麗島から経物台 たが、矢駐農林園長の離世によっと統嗣短週退倒ひを提出中であっ このほど解決した、即ち、俱楽「関ひを却下したか、矢島農林局長の帰世によっ」とし、今回は叱り置く飛渡とか、矢島農林局長の帰世によっ」とし、今回は叱り置く飛渡 秋から改善する

Ĺ い麻布賣り

鎌で喰りにきたので、怪しいと思い遊ぶが甘葉織田して重ちに常愿、年時して同じ記を今度は四国五十の鬼、郷町その他各2タシーから日季脈がをご回で喰つた男が、小 メクシー総部退と連絡、京歌、日 李子嶽さん方へ、時間廿五国団の では荒井麟長自ら帰頭に出て六日午後二時昭泉城青雄町二丁目 | 釈師答に不便を來すので、京

次突島飛行場の松的原は、その後 いが、 目下名古暦の三窓工場で五 | 正航空郵便物の織増から従来の八次突島飛行場の松的原は、その後 いが、 目下名古暦の三窓工場で五 | 正航空郵便物の織増から従来の八次を監視行場の松的原は、その後 しいが、 目下名古暦の三窓工場で 五 |改安縣||飛行場の松納取は、その後||いが、目下名当星の三菱正場で五||近航空郵便範の譲増から従来の八東行戦もろ共火災で爲行に闘した||が競失したま、一〇の摩爾機もな||機である、なほ新エムポイ徴は最

ムボイ機も一台に

置き紋音 京東に舞響機として観備される嬢」かと見られてある

だが、懲骸運ての見事な新屋が今一 **州坪、エムボイ機八盛を格納出來**

等を頼は、下案重飛車武警部の一 捕らないが、扁一人との見込みを「厳軍に取調(る否)等を頼は、下案重飛車武警部の一 捕らないが、扁一人との見込みを「敵軍に関系」といふので、今度こそは別法主信以下、艦等外職非常総合。「横いたいが、扁一人との見込みを「敵軍に取割」(お言いは関第大きな脱騰をや大鬼総に別を巡査本部とし、小川(金首七十五国人りの事處げ金重を「の人の馬では相第天きな脱騰をや大鬼総に別を巡査本部とし、小川(金首七十五国人りの事處げ金重を「の人の馬では相第天きな脱騰を らせてゐて放倒されてゐた。附近 日でも領絶した説似をして手古摺 その度に対人を遊び、五日でも六 日タクシーに曾合、聡史まで報と、教団留置されたことがある男 つた形内タクシー楽譜は八日夜朝客、敷団留置されたことがある男 つた形内タクシー楽譜は八日夜朝の火棚画金部成でごで、これ迄同 トライキを組したので、成行を服 客頭が取押へて調べると、桃花町 | ・の連続手続十名もこれに同僚ス 婦人へのお話

て、西大門署では京英編番村總閣(北山署吉内)で勲章温を遅む、

|前||(龍山岩寺内)で煙草屋を繋び、駆い||去月卅日同町から山越の 孔徳町

離を聞いた、京城第一、二州高女紫の『家について』と廊する講師

生徒を募集

運

直ク

アイスケーキ機 である。 大型を動場が見りて、と思うがは 大型を動場がある。 大型を動場がある。 大型でも、変型を動してリーキ機 大型でも、変型を動してリースを 大型でも、変型を動してリースを 大型でも、変型を 大型でも、変型を 大型でも、変型を 大型でも、変型を 大型でも、 変型を 大型でも、 変型を 大型でも、 変型を 大型でも、 では、 を が関係を が に に の で に の で に の で に の の で に の の に の の に

| 八十||国持逃げ 東城内資 | 町三||厳基健でごは七日夜原城孝 | の子町一四〇彫楽烈さんの現命八十

プラリア・プライン

外前行員採用外前行員採用外前行員採用 特别舍贝

饑○入各色六の號二◆號ールク~オ•綠◆黃◆鼠◆白

いなしき付らむ•くな分申もびのもきつ•粉白の節季のらかれこ

三、000、000。00 三、000。00 三 000。00 三 000 三

不息大王签 選案八円八〇大原で書上本町七大王商舎の 病類はなほり

は知識の複言と僅かの含質で容易 東京市物画が観点」と「五年す 東京市物画が観点」と「五年す 東京市物画が観点」と「五年す 東京市物画が観点」と「五年す 東京市物画が観点」と「五年す

速記生募集

+

※京日案内

ST TO THE STATE OF THE STATE OF

告に限り特に意画にて掲載すります。というでは、一個五十銭度名は一回年に五十四五十銭度名は一回年に五十五號店字十五字胎一四五行一五號店字十五字胎一四五行一

社會式株スーソンキチ

少女給出年齢十五六歳身

家 廷 政師を来む 中県一年生の後習に 中県一年生の後習に

本 吉田郡南丸 野師(宝本二七九七巻) 歌師(宝本二七九七巻) ・ 古田郡南丸

度本二二六三条合在會址西村商會 成上御展書あれば離期回寄す。 京城所外級を16新党里二四一寄地 東京地域中の東京地域中でありません。 **夏家** 宅地共発館町二三番 棚 工

現在盛業中居扱のま、格安にて演

父期と間壁の祀つた自動型は、元 愛子が中日の自動型に図ると、 (九)

酸に揺かれる低ならば、きつと引 う。如何です?』 な人に違ひない、それに、今夜○ ビヴし、雎の方を歩いてみません

本紙一萬號記念懸賞小說二等當選

中村は自分の手を貸した。香料の

之 同人時三〇分 朝秋歌 章 明 世 同人時三〇分 朝本 郡山 公郡 本 東 四 世 同人時三〇分 朝本 郡山 公郡 李 東 乙順 本 東 乙順 十 年 東 千 東 一 東 田 世 同

同八詩(英)ピアノ獨奏

同九時三〇分 唱劇網同九時(页) ヴァイオリンと獨奏組 牧 丹

朴初月

同九時五分(東)を明・總則等 同八時二七分(東)を開診を正外 同八時二七分(東)を開診を正外 同八時二〇分(東)等用・細八郎 同八時二〇分(東)等用・細八郎

同九時五分(東)長唄、漁進副分

芳野懷古

たへのニュース・京城) 地方へのニュース・京城・ 地方へのニュース(朝鮮著・後

ス、須象通報、翌日の番組(地間九時三〇分(東)時報、ニニコ

外務次臣 治外法機徹礙此念

九日の番組 火曜日) 送

た時一五分(氣象通報・料理駅) (後山) (特(東)) 衛生メモ 同六時(更)能人物語 水戸光圀 同六時二〇分 (東) コ

婦人のための經濟部融(三)服那 如貨

| 時一分(京)朝の修養 十日のき、物

午後零時五分 迫化前

Eとして野生の小島を確認して個

二、芳野懷古

小鳥の

田中

オリンピックに於ける日本代表同六時二五分(東)スポーク講座 村岡 花子

日本陸上競技職職は過ぐる四年間

羅府大會直後所謝八ヶ年制造を開 恰も水上に於ける世界総野

と取らしたのは終局の寄せに由北君の二七歩と利かして **《夏金易二》**

一持時間各七時間

前投出間

席上

挿話

オリンピックに於る日本

十一回國際オリ 前に迫り晋々の訛濫は恰もその中

歌助長の一階として勇能飛行燮役(正居間銃な事業に豊する職心を高 我が曹雄における民間航空事業が、さに之が貫光を半尉大衆に際へ以 表が曹雄に私が、耿聡法人帝国飛行隊領より「もとにマイクを武器に懲め、つぶ

から改字融京取記行場に於て継行 めて慈養院主飛行機である。接籍成が、ける午前十一時三十分 第の際は軍用に供し替るとい

六月十二日 関 東 丸

が乳極く節明です から日無を防ぐと 紫外線を 反射する

が評絶野無路無

ででい

ζ,

D PADAMADA PADAMADA

が繰つ程地で冴えますがからな楽しさに上がり、下の影れず粉が浮かず時に影れず粉が浮かず時にかり、下でいいかり、下のいいのでは、

コンパクトに成るなり、同時に統立なり、同時に統立のた機では、関時に統立



の節は本舗上り直送。 四五十 銭 11 (M + 25 A) (M + 2 ヴアニシンククリーム 振響か小宮智度ひは影響(近月不要) 白粉下 廖爾・京東 舗本鹼石ワツミ◎ 店商屋見丸(卷〇—上京東州口灣縣

クリーム白いコンパクト

ム白粉

F.60

(白・肌・液原・気肌・気肌) 煉(台•肌)

唯清潔な水さつ有れば 濃くる 事質特許の日粉 附着版るよく伸びはX 脚着版るよく伸びはX 何方にも譯無く 生 の素です 、程も永保します しいお化粧が 淡くも自由